

天地自然から学んだ 第001号 農の教え・百姓の知恵

生きものたちはみんな 自由に生きている

百姓仕事をしていると、動植物とは常に一緒にいます。そんな動植物、鳥さんや虫やお猿さんなどを見ていると、本当に自由奔放に生きているな～といったエネルギーが伝わってきます。彼らは「自分が一番」を体現しています。本来人も、他人の自由を干渉しない限り、誰からも制限を受けることなく自由なはず。国や地域や会社などの犠牲に自らを追い込まなくてもいいのです。それぞれ違った個性があったほうが本当は地域のためになるはず。人と比べることなく、自分を好きになって自分の好きなように生きていんだよと百姓は常に天地自然の生きものたちから教えを受けています。思考が現実化する。と自己啓発等ではよく言われていますね。自由に生きていんだよと、まずは自分を許して自分にしかできない人生を作り上げていきましょう。



いんすたぐらむ

更新頻度が一番高く、近況などは主にインスタグラムでアップしています。



著書「百姓語り」

著書はamazonさんから購入できるようにになっています。農の世界の第一歩として、ご興味のある方は是非読んでみてください。



今年は集落を巡り、農村の風景を堪能

今年は各地の棚田や集落をたくさん巡ることができました。そして、偶然そこで出会った方々とお話していると、集落の人々の歴史や物語の存在を深く感じることができました。過去、私たちは画一的に共通の歴史を学ばされてきました。しかし、各地に生きた人々の営みが私たちの知るべき歴史なのではないかと気づかされました。江戸時代の百姓の人口は85%を占めていたそうです。それを考えると日本人のアイデンティティは天地自然と共に生きた百姓に一番近いように思えるのです。



長野県飯田市 よこね田んぼ

育てる過程を楽しむ



長野県飯田市 よこね田んぼ

百姓の仕事は育てる過程を楽しめなければ、ただのきつい労働に感じてしまいます。作物の種を蒔いてから育つまで、お米なら半年もの時間が必要です。たった一日で出来てしまう作物はないのです。植物たちを日々見ていると、自分たちの成長をものすごく楽しんでいるように感じます。現代は短期的に何かを成すことが過剰評価されているように思います。百姓がそれに習ってしまうと丹精を込めた作物など育てられません。植物たちはこう語りかけてきます。「地球は過程を楽しむ屋だよ。今このときを楽しく刻むために地球に生まれてきたんだよ。そのために知恵を使うんだよ」と。

ユーチューブチャンネル

世間一般で語られている農業とは違った視点での農の見方・考え方をお伝えしています。



山下農園ホームページ

お問い合わせ
innerlightjapan@yahoo.co.jp

